

◆ 調査の概要

1. 目的

社会状況が急激に変化するなか、ますます多様化する市民ニーズを把握し、今後の行政課題に的確に対応するとともに、新しい総合計画を策定するための資料とすることを目的とする。

2. 調査方法

- (1) 調査の対象 : 市内に居住する満 20 歳以上の男女
- (2) 調査地区 : 名張市全域
- (3) 調査数 : 2,000
- (4) 抽出方法 : 住民基本台帳に基づく無作為抽出
- (5) 調査方法 : 郵送による配布・回収
- (6) 調査期間 : 平成 15 年 6 月 13 日～6 月 30 日

3. 回収結果

- (1) 回収数 : 881 人
- (2) 回収率 : 44.1%

◆ 調査対象者（問１）

（１）性別

男性	382
女性	491
無回答	8
合計	881

（２）年齢

20代	99
30代	91
40代	136
50代	234
60代	179
70代以上	130
無回答	12
合計	881

（３）居住地区

名張地区	115
蔵持地区	41
薦原地区	22
美旗地区	94
比奈知地区	56
錦生地区	30
赤目地区	45
箕曲地区	29
国津地区	12
桔梗が丘地区	157
つつじが丘地区	90
すずらん台地区	44
梅が丘地区	59
百合が丘地区	72
無回答	15
合計	881

（４）職業

自 営	農業	20
	林業	0
	漁業	0
	鉱業	0
	建設業	8
	製造業	12
	卸・小売業	10
	金融・保険・不動産業	2
	運輸・通信業	2
	電気・ガス・水道業	0
お つ と め	サービス業	18
	その他	19
	小 計	91
	農業	1
	林業	0
	漁業	0
	鉱業	0
	建設業	23
	製造業	94
	卸・小売業	29
そ の 他	金融・保険・不動産業	8
	運輸・通信業	22
	電気・ガス・水道業	4
	サービス業	77
	公務	49
	その他	59
	小 計	366
	学生	8
	主婦	225
	無職	177
	小 計	410
	無回答	14
	合 計	881

(5)勤務地(通学地)

市内	275
伊賀地区内	58
県内	13
奈良県内	41
大阪府内	91
その他	112
無回答	291
合計	881

(6)名張市での居住年数

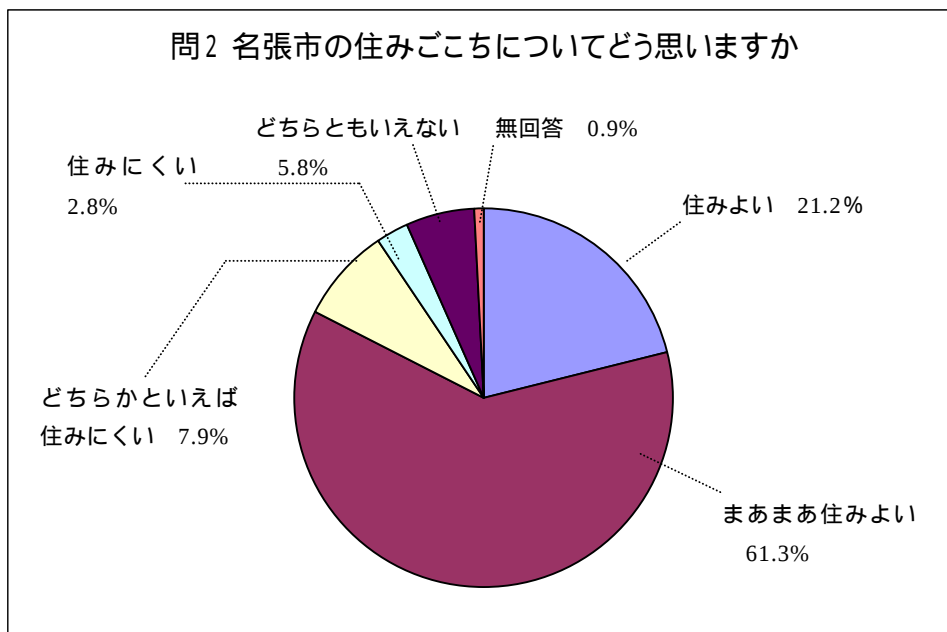
2年未満	32
2年以上～5年未満	34
5年以上～10年未満	99
10年以上～20年未満	239
20年以上	457
無回答	20
合計	881

◆ 調査結果の概要

1. 名張市のイメージ

問2 名張市の住みごころ

	問2 名張市の住みごころについてどう思いますか	回答数	割合
1	住みよい	187	21.2%
2	まあまあ住みよい	540	61.3%
3	どちらかといえば住みにくい	70	7.9%
4	住みにくい	25	2.8%
5	どちらともいえない	51	5.8%
	無回答	8	0.9%
		881	100.0%



住みごころは「よい」とする人が8割以上と多い

「名張市の住みごころ」については、「住みよい」とする人が21.2%、「まあまあ住みよい」とする人が61.3%と、合わせて8割以上（82.5%）の人が「住みよい」と評価している。

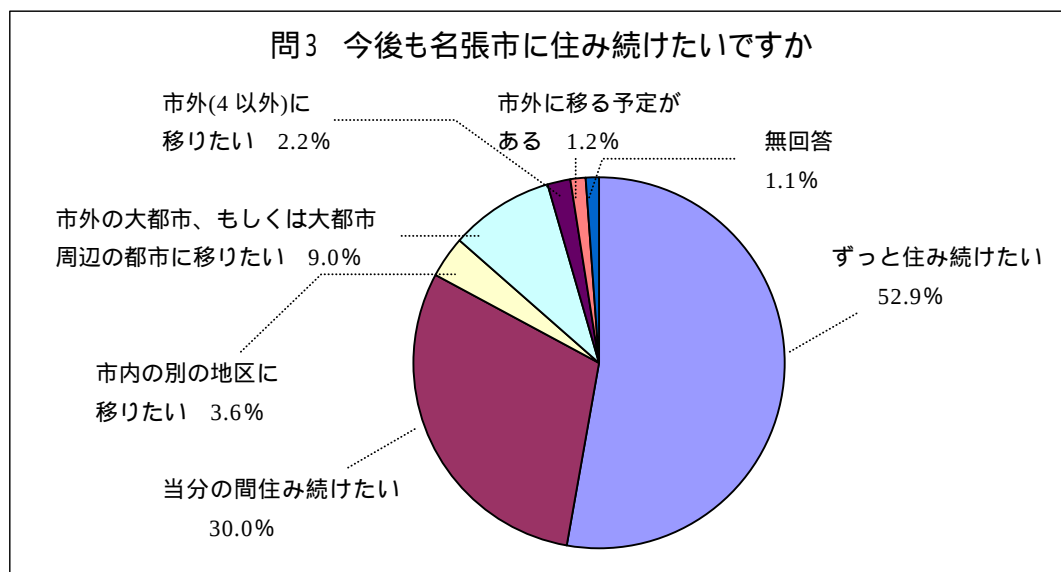
一方、「どちらかといえば住みにくい」とする人は7.9%、「住みにくい」とした人は2.8%であり、この両者を合計した住みごころを否定的に評価する人は10.7%と比較的少ない。

<参考> 平成 10 年調査結果

	名張市の住みごちについてどう思いますか	割合
1	住みよい	17.7%
2	まあまあ住みよい	59.0%
3	どちらかといえば住みにくい	7.5%
4	住みにくい	10.9%
5	どちらともいえない	4.3%
	無回答	0.6%
		100.0%

問3 名張市での継続居住意向

	問3 今後も名張市に住み続けたいですか	回答数	割合
1	ずっと住み続けたい	466	52.9%
2	当分の間住み続けたい	264	30.0%
3	名張市内の別の地区に移りたい	32	3.6%
4	市外の大都市、もしくは大都市周辺の都市へ移りたい	79	9.0%
5	市外（4 以外）へ移りたい	19	2.2%
6	市外に移る予定がある	11	1.2%
	無回答	10	1.1%
		881	100.0%



市内での継続居住意向者は 86.5%

名張市「ずっと住みたい」とする人は 52.9%と半数を超える。これに「当分の間住み続けたい」とする人 30.0%を加えると、名張に住み続けたいと考える人の合計は 82.9%と全体の 8 割強を占める。さらに「名張市内の別の地区に移りたい」とする人 3.6%を加えると、名張市内での継続居住意向は 86.5%となる。

これに対して、「市外へ移りたい」とする人は 11.2%、「市外に移る予定がある」人は 1.2%となり、これを合計した転出意向は 12.4%に留まる。

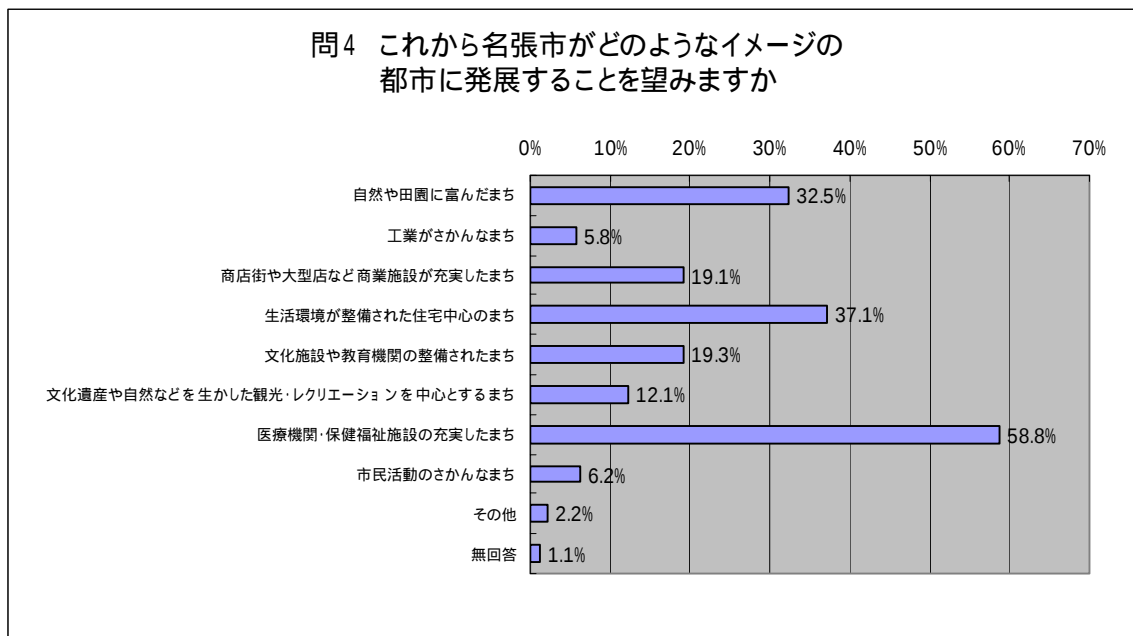
<参考> 平成 10 年調査結果

	今後も名張市に住み続けたいですか	割合
1	ずっと住みたい	52.0%
2	当分の間住み続けたい	33.4%
3	名張市内の別の地区に移りたい	3.5%
4	市外へ移りたい	8.0%
5	市外に移る予定がある	2.1%
	無回答	0.9%
		100.0%

問4 発展のイメージ

	問4 これから名張市がどのようなイメージの都市に発展することを望みますか	回答数	割合
1	自然や田園に富んだまち	286	32.5%
2	工業がさかんなまち	51	5.8%
3	商店街や大型店など商業施設が充実したまち	168	19.1%
4	生活環境が整備された住宅中心のまち	327	37.1%
5	文化施設や教育機関の整備されたまち	170	19.3%
6	文化遺産や自然などを生かした観光・レクリエーションを中心とするまち	107	12.1%
7	医療機関・保健福祉施設の充実したまち	518	58.8%
8	市民活動のさかんなまち	55	6.2%
9	その他	19	2.2%
	無回答	10	1.1%

複数回答(2つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



豊かな自然の中で、医療機関・保健福祉施設の充実した住みよいまち

名張市の将来のイメージについては、「医療機関・保健福祉施設の充実したまち」としての発展を望む人が58.8%と最も多く、6割近くの人がこの項目を選択している。ほかに選択した人の割合が多かった項目として、「生活環境が整備された住宅中心のまち」37.1%、「自然や田園に富んだまち」32.5%が挙げられる。次いで、「文化施設や教育機関の整備されたまち」19.3%、「商店街や大型店など商業施設が充実したまち」19.1%、「文化遺産や自然などを生かした観光・レクリエーションを中心とするまち」12.1%、「市民活動のさかんなまち」6.2%、「工業がさかんなまち」5.8%の順であった。

<参考> 平成10年調査結果

	問4 これから名張市がどのようなイメージの都市に発展することを望みますか	割合
1	自然や田園に富んだまち	18.0%
2	工業がさかんなまち	1.0%
3	商店街や大型店など商業施設が充実したまち	8.5%
4	生活環境が整備された住宅中心のまち	24.5%
5	文化施設や教育機関の整備されたまち	9.5%
6	文化遺産や自然などを生かした観光・レクリエーションを中心とするまち	7.4%
7	医療機関・保健福祉施設の充実したまち	27.2%
8	その他	2.4%
	無回答	1.7%
		100.0%

2. 日常生活環境等

問5 満足度・重要度

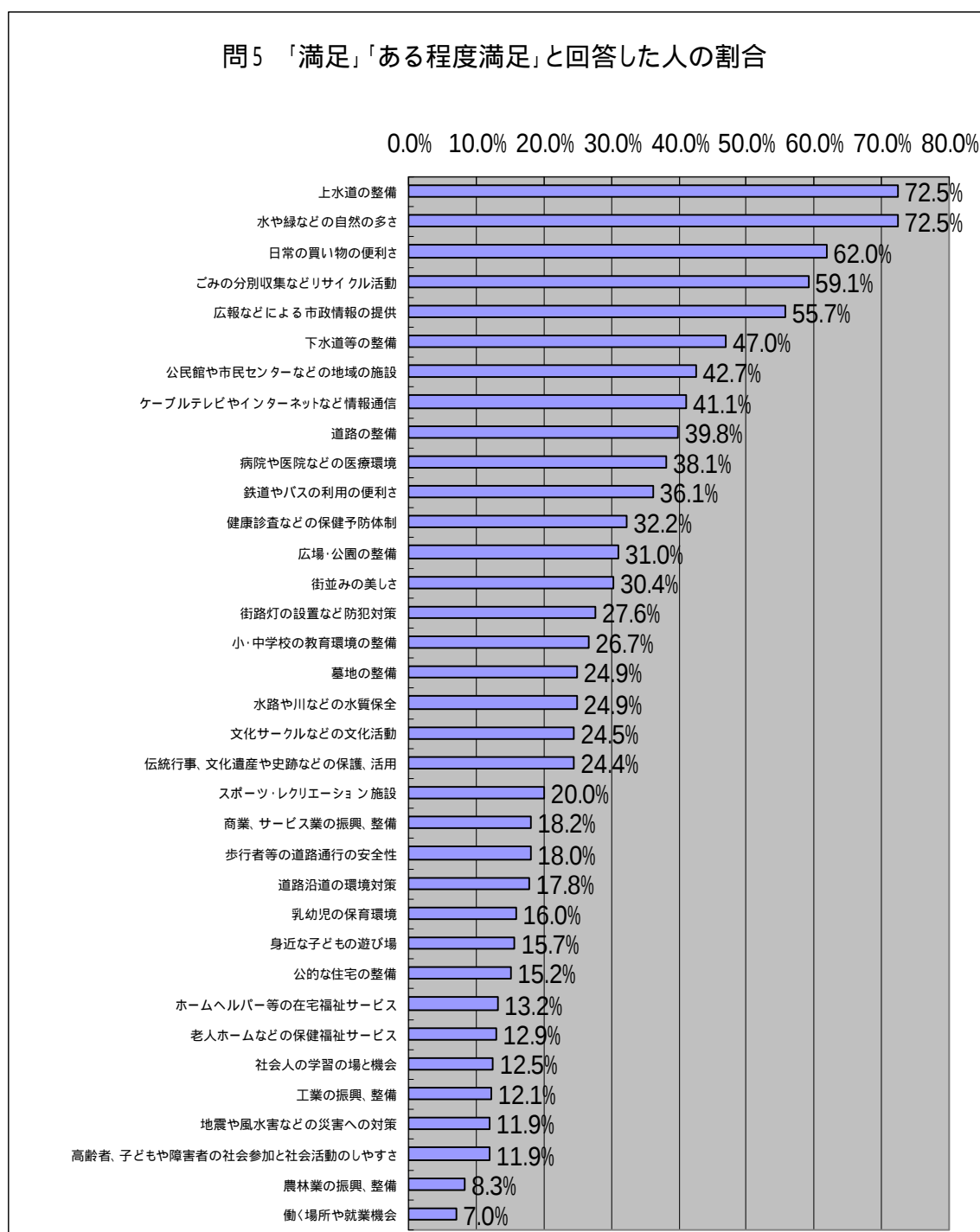
<満足度>

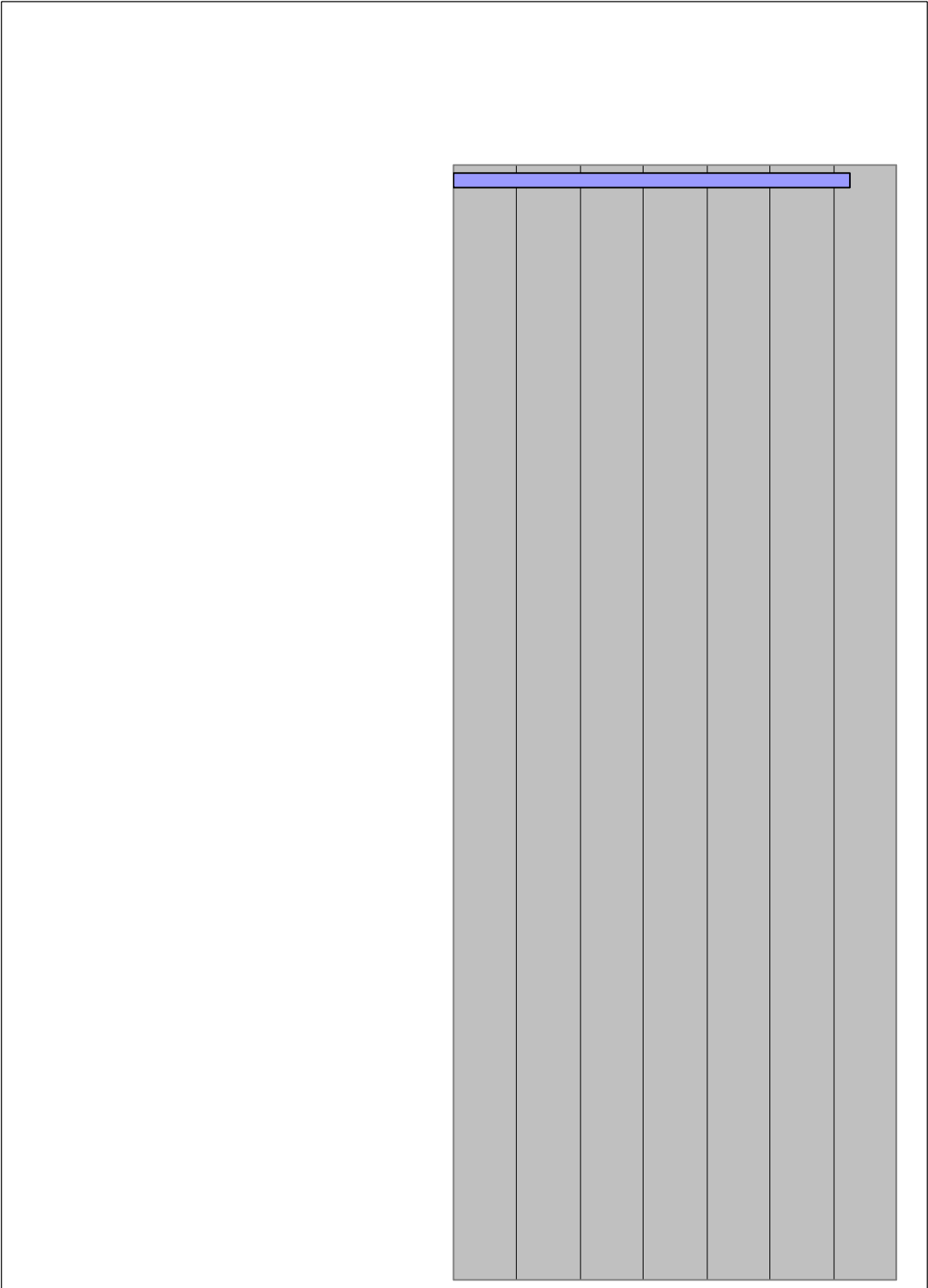
次の各事項について、現在どのくらい満たされていますか	満足	ある程度満足	どちらともいえない	あまり満足でない	満足でない	無回答	「満足」「ある程度満足」と回答した人の割合	「満足でない」「あまり満足でない」と回答した人の割合
道路の整備	45	306	126	266	122	16	39.8%	44.0%
歩行者等の道路通行の安全性	15	144	154	333	220	15	18.0%	62.8%
鉄道やバスの利用の便利さ	71	247	143	208	191	21	36.1%	45.3%
ケーブルテレビやインターネットなど情報通信	81	281	371	82	33	33	41.1%	13.1%
上水道の整備	272	367	136	58	32	16	72.5%	10.2%
下水道等の整備	153	261	158	108	180	21	47.0%	32.7%
墓地の整備	89	130	471	90	74	27	24.9%	18.6%
公的な住宅の整備	32	102	567	88	56	36	15.2%	16.3%
広場・公園の整備	46	227	230	234	121	23	31.0%	40.3%
水や緑などの自然の多さ	238	401	132	70	20	20	72.5%	10.2%
街並みの美しさ	32	236	287	205	100	21	30.4%	34.6%
水路や川などの水質保全	31	188	295	211	135	21	24.9%	39.3%
道路沿道の環境対策	18	139	319	263	120	22	17.8%	43.5%
ごみの分別収集などリサイクル活動	118	403	170	120	51	19	59.1%	19.4%
地震や風水害などの災害への対策	14	91	431	183	135	27	11.9%	36.1%
街路灯の設置など防犯対策	37	206	139	299	181	19	27.6%	54.5%
高齢者、子どもや障害者の社会参加と社会活動のしやすさ	10	95	504	161	81	30	11.9%	27.5%
ホームヘルパー等の在宅福祉サービス	15	101	609	68	34	54	13.2%	11.6%
老人ホームなどの保健福祉サービス	21	93	563	82	70	52	12.9%	17.3%
乳幼児の保育環境	17	124	535	99	48	58	16.0%	16.7%
健康診査などの保健予防体制	40	244	386	134	42	35	32.2%	20.0%
病院や医院などの医療環境	47	289	184	223	113	25	38.1%	38.1%
日常の買い物の便利さ	148	398	126	101	88	20	62.0%	21.5%
農林業の振興、整備	12	61	638	81	36	53	8.3%	13.3%
工業の振興、整備	16	91	580	92	47	55	12.1%	15.8%
商業、サービス業の振興、整備	19	141	484	130	56	51	18.2%	21.1%
働く場所や就業機会	7	55	302	244	225	48	7.0%	53.2%
小・中学校の教育環境の整備	35	200	386	128	81	51	26.7%	23.7%
公民館や市民センターなどの地域の施設	73	303	341	97	36	31	42.7%	15.1%
文化サークルなどの文化活動	40	176	552	54	23	36	24.5%	8.7%
伝統行事、文化遺産や史跡などの保護、活用	35	180	521	66	39	40	24.4%	11.9%
スポーツ・レクリエーション施設	34	142	417	174	74	40	20.0%	28.1%
社会人の学習の場と機会	14	96	501	163	64	43	12.5%	25.8%
身近な子どもの遊び場	15	123	310	251	140	42	15.7%	44.4%
広報などによる市政情報の提供	108	383	255	74	37	24	55.7%	12.6%

上水道の整備、自然の多さ、買い物の便利さは満足度が高い

生活環境などの 35 項目についての満足度調査では、「上水道の整備」「水や緑などの自然の多さ」「日常の買い物の便利さ」の 3 項目について 6 割以上の人々が「満足している」「ある程度満足」と回答している。

逆に「満足でない」「あまり満足でない」と答えた人が多かった項目は「歩行者等の道路通行の安全性」「街路灯など防犯対策」「働く場所や就業機会」などである。



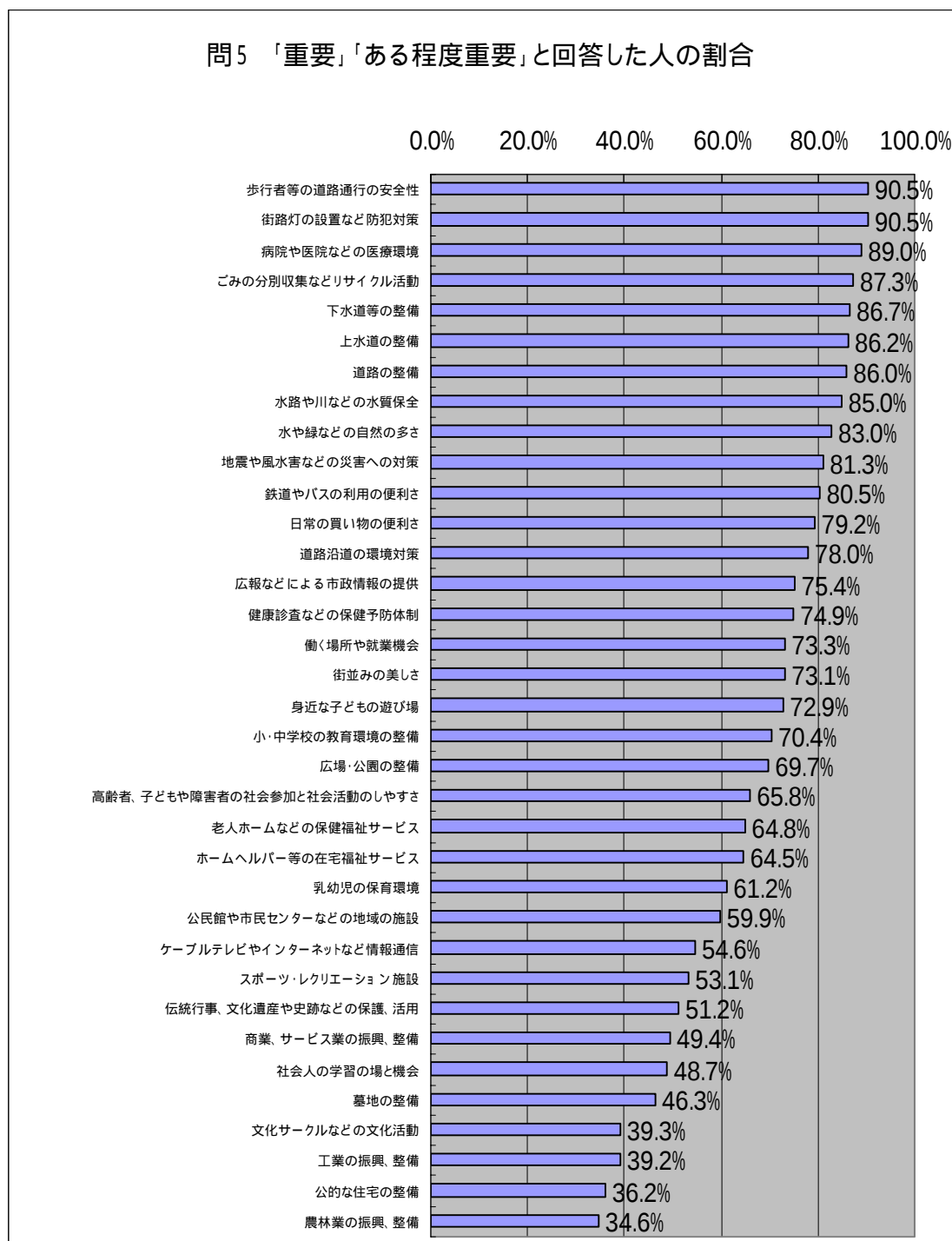


＜重要度＞

次の各事項は、あなたの今の、あるいはこれからの生活にとって、どのくらい重要ですか	重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	「重要」「ある程度重要」と回答した人の割合
道路の整備	361	397	61	30	6	26	86.0%
歩行者等の道路通行の安全性	511	286	47	11	4	22	90.5%
鉄道やバスの利用の便利さ	363	346	107	35	4	26	80.5%
ケーブルテレビやインターネットなど情報通信	142	339	275	61	27	37	54.6%
上水道の整備	525	234	89	4	5	24	86.2%
下水道等の整備	556	208	80	6	6	25	86.7%
墓地の整備	151	257	344	65	34	30	46.3%
公的な住宅の整備	107	212	416	67	39	40	36.2%
広場・公園の整備	191	423	184	45	8	30	69.7%
水や緑などの自然の多さ	361	370	97	21	5	27	83.0%
街並みの美しさ	228	416	182	24	3	28	73.1%
水路や川などの水質保全	490	259	92	11	2	27	85.0%
道路沿道の環境対策	310	377	153	13	1	27	78.0%
ごみの分別収集などリサイクル活動	494	275	75	12	0	25	87.3%
地震や風水害などの災害への対策	529	187	124	7	4	30	81.3%
街路灯の設置など防犯対策	504	293	47	7	4	26	90.5%
高齢者、子どもや障害者の社会参加と社会活動のしやすさ	250	330	249	14	4	34	65.8%
ホームヘルパー等の在宅福祉サービス	293	275	253	7	5	48	64.5%
老人ホームなどの保健福祉サービス	319	252	250	9	2	49	64.8%
乳幼児の保育環境	269	270	272	11	5	54	61.2%
健康診査などの保健予防体制	318	342	177	7	1	36	74.9%
病院や医院などの医療環境	559	225	63	6	0	28	89.0%
日常の買い物の便利さ	297	401	123	26	7	27	79.2%
農林業の振興、整備	112	193	468	38	15	55	34.6%
工業の振興、整備	128	217	434	31	15	56	39.2%
商業、サービス業の振興、整備	148	287	365	19	8	54	49.4%
働く場所や就業機会	399	247	173	4	6	52	73.3%
小・中学校の教育環境の整備	381	239	202	4	2	53	70.4%
公民館や市民センターなどの地域の施設	161	367	275	35	8	35	59.9%
文化サークルなどの文化活動	86	260	430	48	18	39	39.3%
伝統行事、文化遺産や史跡などの保護、活用	151	300	345	32	11	42	51.2%
スポーツ・レクリエーション施設	120	348	327	32	9	45	53.1%
社会人の学習の場と機会	123	306	376	26	7	43	48.7%
身近な子どもの遊び場	259	383	174	17	3	45	72.9%
広報などによる市政情報の提供	317	347	171	11	6	29	75.4%

重要度が高いのは道路通行の安全性、街路灯の設置、医療環境など

重要度については「重要」「ある程度重要」を合わせると、「歩行者等の道路通行の安全性」「街路灯の設置など防犯対策」「病院や医院などの医療環境」などが上位を占めている。歩行者の道路通行の安全性、街路灯などの防犯対策は「満足でない」「あまり満足でない」とする人が多く、重要度も高い問題であるという結果になっている。



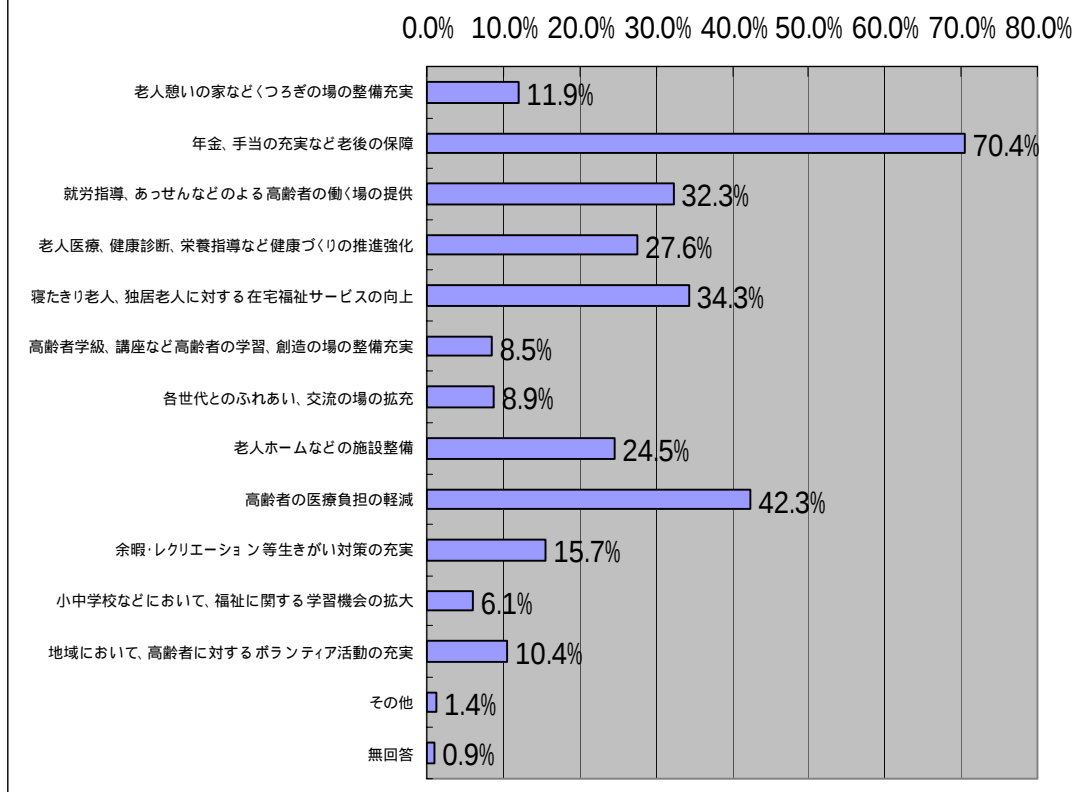
3. 高齢化社会

問6 高齢化社会の対応策として特に力を入れてほしいこと

	問6 高齢化社会の対応策として特に力を入れてほしいことは何ですか	回答数	割合
1	老人憩いの家などくつろぎの場の整備充実	105	11.9%
2	年金、手当の充実など老後の保障	620	70.4%
3	就労指導、あっせんなどによる高齢者の働く場の提供	285	32.3%
4	老人医療、健康診断、栄養指導など健康づくりの推進強化	243	27.6%
5	寝たきり老人、独居老人に対する在宅福祉サービスの向上	302	34.3%
6	高齢者学級、講座など高齢者の学習、創造の場の整備充実	75	8.5%
7	各世代とのふれあい、交流の場の拡充	78	8.9%
8	老人ホームなどの施設整備	216	24.5%
9	高齢者の医療負担の軽減	373	42.3%
10	余暇・レクリエーション等生きがい対策の充実	138	15.7%
11	小中学校などにおいて、福祉に関する学習機会の拡大	54	6.1%
12	地域において、高齢者に対するボランティア活動の充実	92	10.4%
13	その他	12	1.4%
	無回答	8	0.9%

複数回答(3つまで)、回答者数のうち各項目を選択した人の割合

問6 高齢化社会の対応策として、
特に力を入れてほしいことは何ですか

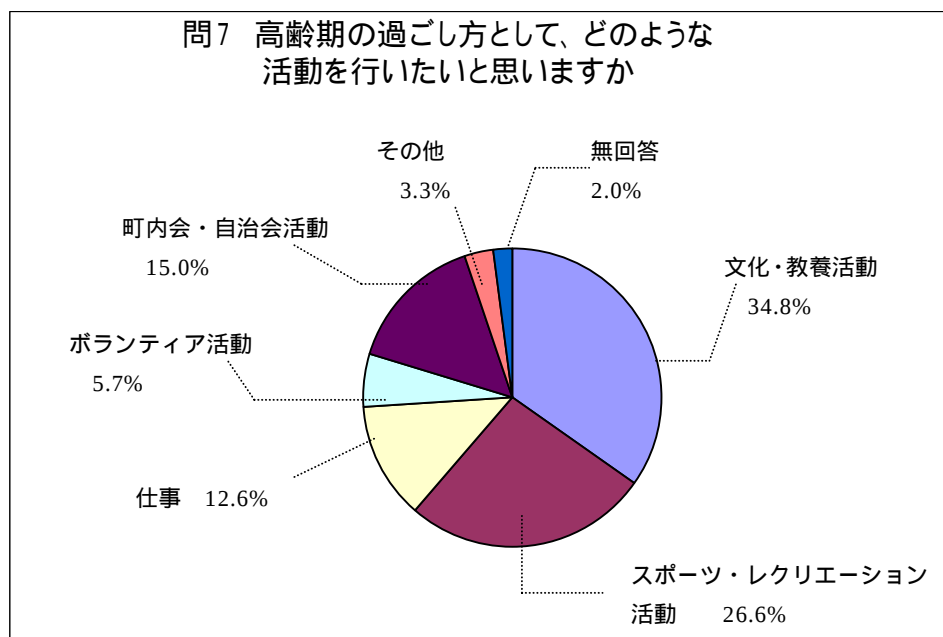


まず経済的な保障、次に医療・福祉サービスの充実

高齢化社会への対応策として特に力を入れてほしいこととして、7割以上（70.4%）の人が「年金、手当の充実など老後の保障」をあげており、突出した希望項目となっている。ほかに「高齢者の医療負担の軽減」42.3%、「寝たきり老人、独居老人に対する在宅福祉サービスの向上」34.3%、「就労指導、あっせんなどによる高齢者の働く場の提供」32.3%などが上位にあがっており、次いで「老人医療、健康診断、栄養指導など健康づくりの推進強化」27.6%、「老人ホームなどの施設整備」24.5%となっている。

問7 高齢期の過ごし方

	問7 高齢期の過ごし方として、どのような活動を行いたいと思いますか	回答数	回答数
1	文化・教養活動	307	34.8%
2	スポーツ、レクリエーション活動	234	26.6%
3	仕事	111	12.6%
4	ボランティア活動	50	5.7%
5	町内会、自治会活動	132	15.0%
6	その他	29	3.3%
	無回答	18	2.0%
		881	100.0%



高齢期は文化・教養活動、スポーツなどを

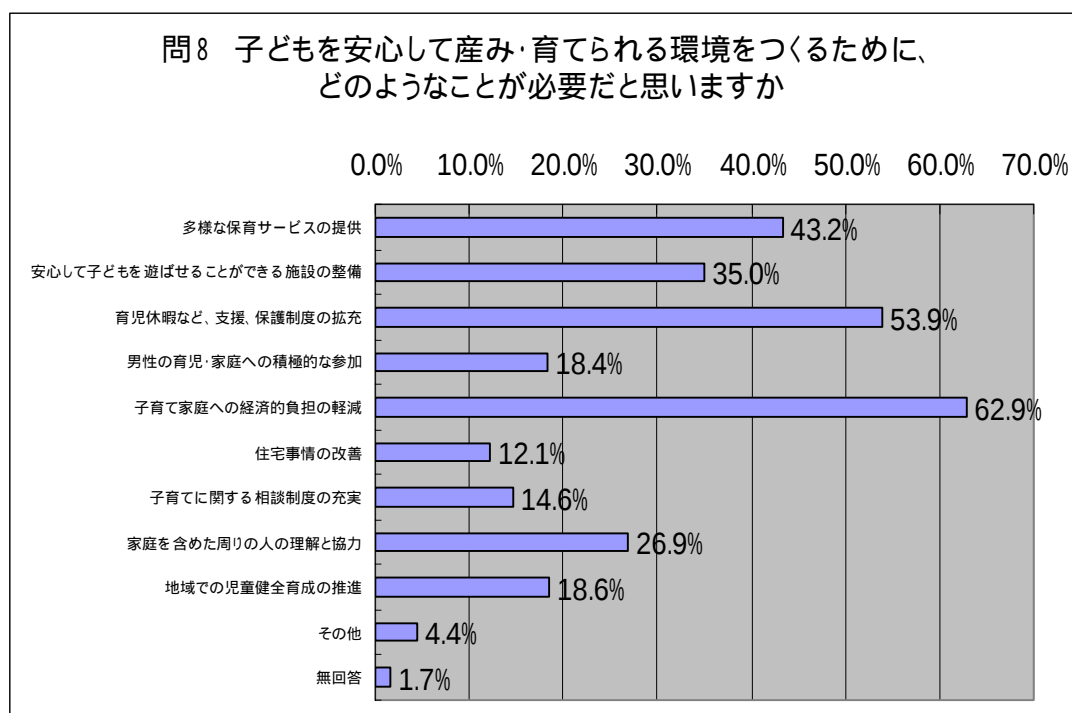
高齢期の過ごし方として、どのような活動をしたいかという問いに対しては、「文化・教養活動」34.8%、「スポーツ、レクリエーション活動」26.6%と、合わせて約6割になる。次いで「町内会、自治会の活動」15.0%、「仕事」12.6%、「ボランティア活動」5.7%の順になっている。生涯学習、生涯スポーツへの関心が高まっていることがうかがえる。

4. 少子化対策

問8 安心して子どもを産み・育てられる環境をつくるために必要なこと

	問8 安心して子どもを産み・育てられる環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか	回答数	割合
1	多様な保育サービスの提供	381	43.2%
2	安心して子どもを遊ばせることができる施設の整備	308	35.0%
3	育児休暇など、支援、保護制度の拡充	475	53.9%
4	男性の育児・家庭への積極的な参加	162	18.4%
5	子育て家庭への経済的負担の軽減	554	62.9%
6	住宅事情の改善	107	12.1%
7	子育てに関する相談制度の充実	129	14.6%
8	家庭を含めた周りの人の理解と協力	237	26.9%
9	地域での児童健全育成の推進	164	18.6%
10	その他	39	4.4%
	無回答	15	1.7%

複数回答(3つまで)、回答者数のうち各項目を選択した人の割合



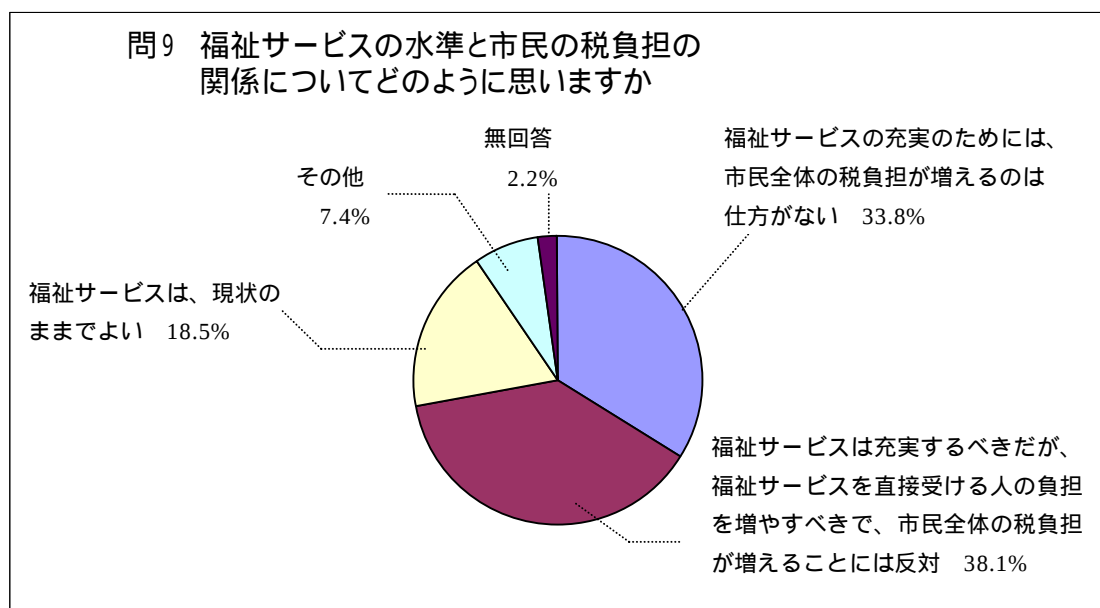
経済的負担の軽減、育児休暇など子育てを支援する制度の充実が必要

子どもを安心して産み・育てることができる環境をつくるために必要なこととして、「子育て家庭への経済的負担の軽減」62.9%、「育児休暇など、支援、保護制度の充実」53.9%、「多様な保育サービスの提供」43.2%などが上位となっている。経済面を中心に子育てを支援する制度の充実が必要と考える人が多いことが読み取れる。

5. 福祉サービスの水準と市民の税負担

問9 福祉サービスの水準と市民の税負担の関係

	問9 福祉サービスの水準と税負担の関係についてどのように思いますか	回答数	割合
1	福祉サービスの充実のためには、市民全体の税負担が増えるのは仕方がない	298	33.8%
2	福祉サービスを充実するべきであるが、福祉サービスを直接受ける人の負担を増やすべきで、市民全体の税負担が増えることには反対	336	38.1%
3	福祉サービスは現状のままでよい	163	18.5%
4	その他	65	7.4%
	無回答	19	2.2%
		881	100.0%



福祉は充実させるべき、税の負担については今後検討が必要

福祉サービスの水準については、「現状のままでよい」とした人は18.5%と全体の2割弱にとどまり、7割以上の人が「充実させるべき」と考えているようである。

サービスの水準を上げることによる税負担については、「市民全体の税負担が増えるのは仕方がない」とした人33.8%を、「福祉サービスを直接受ける人の負担を増やすべきで、市民全体の税負担を増やすことには反対」とした人38.1%がわずかに上回った。

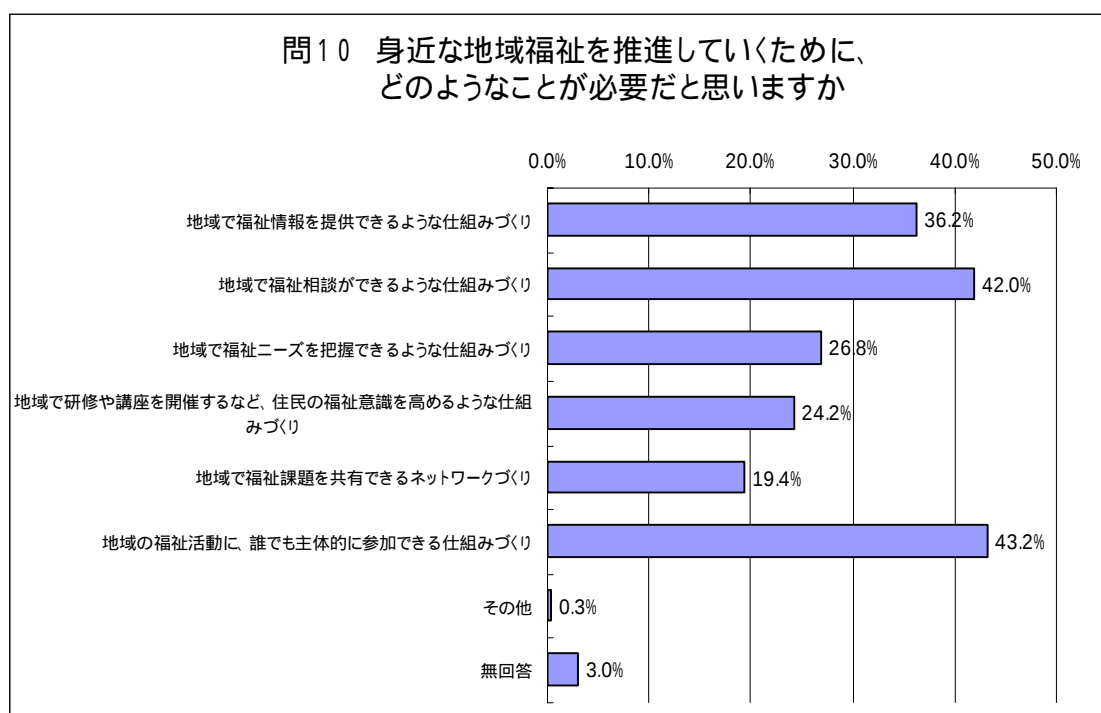
福祉サービスの充実を求める意見が多数を占める中、今後サービスと受益者負担のあり方について十分議論を積み重ねていく必要があると言える。

6. 身近な地域福祉

問 10 身近な福祉を推進するために必要なこと

	問 10 身近な地域福祉を推進していくために、どのようなことが必要だと思いますか	回答数	割合
1	地域で福祉情報を提供できるような仕組みづくり	319	36.2%
2	地域で福祉相談ができるような仕組みづくり	370	42.0%
3	地域で福祉ニーズを把握できるような仕組みづくり	236	26.8%
4	地域で研修や講座を開催するなど、住民の福祉意識を高めるような仕組みづくり	213	24.2%
5	地域で福祉課題を共有できるネットワークづくり	171	19.4%
6	地域の福祉活動に、誰でも主体的に参加できる仕組みづくり	381	43.2%
7	その他	3	0.3%
	無回答	26	3.0%

複数回答(2 つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



誰でも参加できる地域の福祉活動、地域での福祉相談

身近な福祉を推進するために必要なこととしては、「地域の福祉活動に、誰でも主体的に参加できる仕組みづくり」とした人 43.2%、「地域で福祉相談ができるような仕組みづくり」42.0%、「地域で福祉情報を提供できるような仕組みづくり」36.2%が上位を占めた。

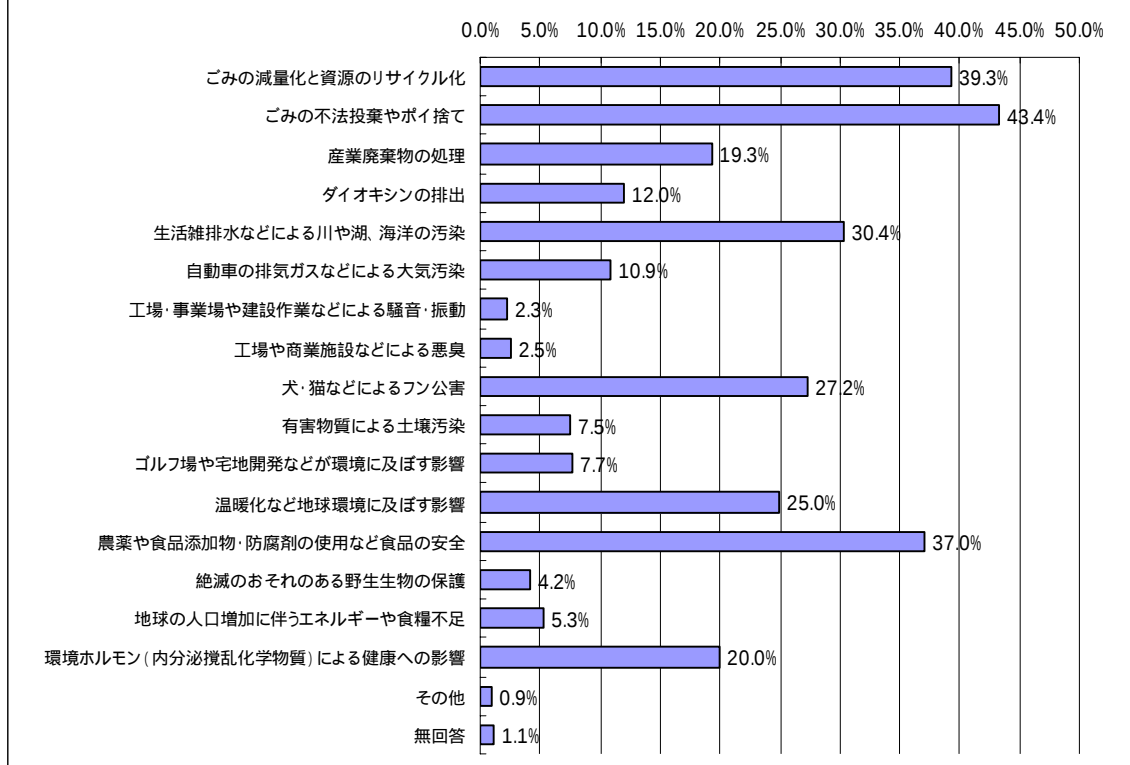
7. 環境

問 1 1 関心の強い環境問題

	問 1 1 さまざまな環境問題の中で、特にどのような問題に関心を持っていますか	回答数	割合
1	ごみの減量化と資源のリサイクル化	346	39.3%
2	ごみの不法投棄やポイ捨て	382	43.4%
3	産業廃棄物の処理	170	19.3%
4	ダイオキシンの排出	106	12.0%
5	生活雑排水などによる川や湖、海洋の汚染	268	30.4%
6	自動車の排気ガスなどによる大気汚染	96	10.9%
7	工場・事業場や建設作業などによる騒音・振動	20	2.3%
8	工場や商業施設などによる悪臭	22	2.5%
9	犬・猫などによるフン公害	240	27.2%
10	有害物質による土壌汚染	66	7.5%
11	ゴルフ場や宅地開発などが環境に及ぼす影響	68	7.7%
12	温暖化など地球環境に及ぼす影響	220	25.0%
13	農薬や食品添加物・防腐剤の使用など食品の安全	326	37.0%
14	絶滅のおそれのある野生生物の保護	37	4.2%
15	地球の人口増加に伴うエネルギーや食糧不足	47	5.3%
16	環境ホルモン（内分泌攪乱化学物質）による健康への影響	176	20.0%
17	その他	8	0.9%
	無回答	10	1.1%

複数回答(3 つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合

問11 さまざまな環境問題の中で、
特にどのような問題に関心を持っていますか



関心の高いごみ問題、食の安全

関心の高い環境問題は、「ごみの不法投棄やポイ捨て」43.4%、「ごみの減量化と資源のリサイクル化」39.3%と続き、2つの回答を合わせると8割以上となり、ごみ問題に対する高い関心が示されている。

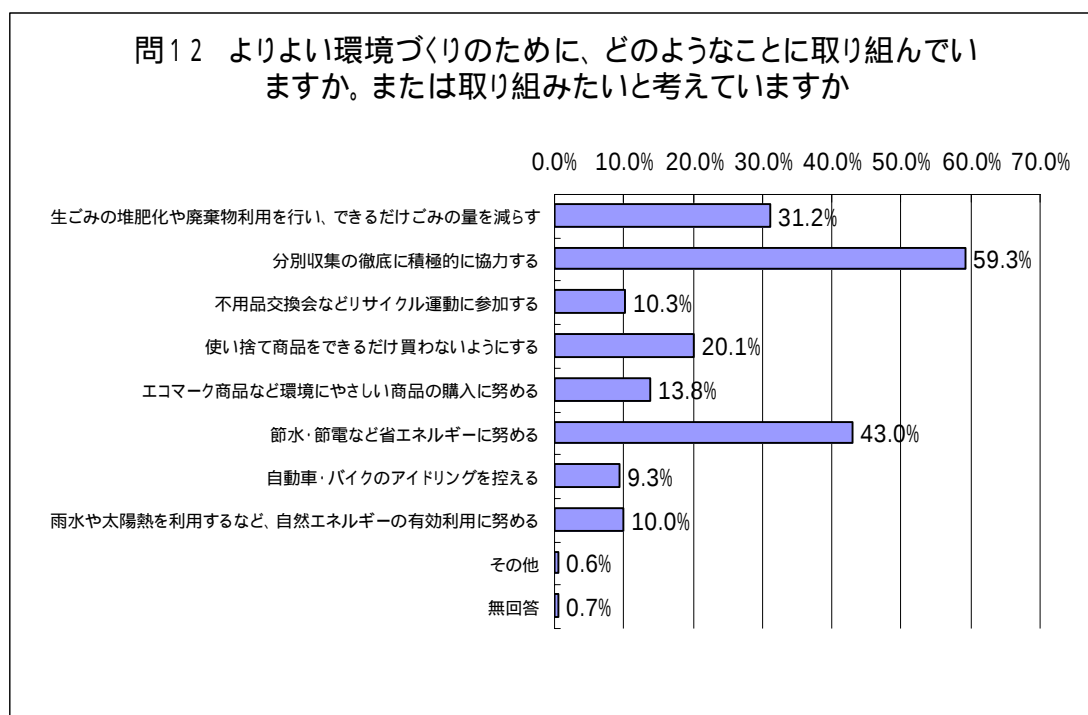
ごみ問題に続いて「農薬や食品添加物・防腐剤の使用など食品の安全」37.0%、「生活雑排水などによる川や湖、海洋の汚染」30.4%、「犬・猫などによるフン公害」27.2%、「温暖化など地球環境に及ぼす影響」25.0%、「環境ホルモン（内分泌攪乱化学物質）による健康への影響」20.0%などがあげられた。

生活に密着した問題、化学の発達が地球・人体に及ぼす影響などに関心が寄せられている。

問１２ よりよい環境づくりのために取り組んでいること、取り組みたいこと

	問１２ よりよい環境づくりのために、どのようなことに取り組んでいますか。または取り組みたいと考えていますか	回答数	割合
1	生ごみの堆肥化や廃棄物利用を行い、できるだけごみの量を減らす	275	31.2%
2	分別収集の徹底に積極的に協力する	522	59.3%
3	不用品交換会などリサイクル運動に参加する	91	10.3%
4	使い捨て商品をできるだけ買わないようにする	177	20.1%
5	エコマーク商品など環境にやさしい商品の購入に努める	122	13.8%
6	節水・節電など省エネルギーに努める	379	43.0%
7	自動車・バイクのアイドリングを控える	82	9.3%
8	雨水や太陽熱を利用するなど、自然エネルギーの有効利用に努める	88	10.0%
9	その他	5	0.6%
	無回答	6	0.7%

複数回答(2つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



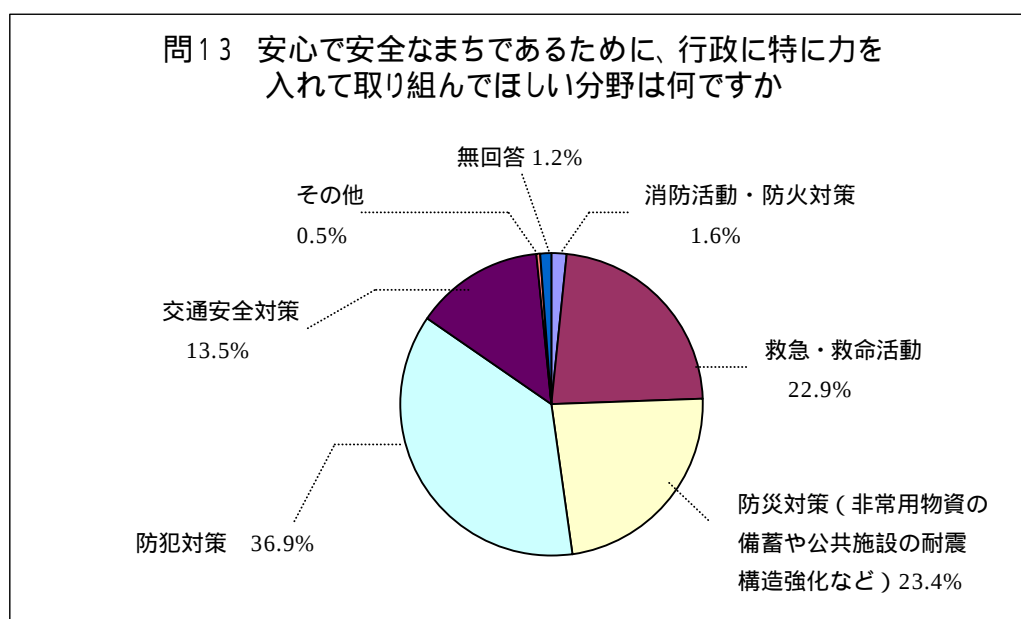
関心の高いごみの分別収集の徹底

よりよい環境づくりのために実際に取り組んでいること、または取り組みたいと考えていることは「分別収集の徹底に積極的に協力する」が最も多く、59.3%とほぼ6割の人が分別収集の徹底に意欲を示している。ほかには「節水・節電など省エネルギーに努める」43.0%、「生ごみの堆肥化や廃棄物利用を行い、できるだけごみの量を減らす」31.2%、「使い捨て商品をできるだけ買わないようにする」20.1%などがあげられた。

8. 安心・安全のまちづくり

問 13 安心・安全なまちであるために行政に特に重点的に取り組んでほしいこと

	問13 安心で安全なまちであるために、行政に特に力を入れて取り組んでほしい分野は何ですか	回答数	割合
1	消防活動・防火対策	14	1.6%
2	救急・救命活動	202	22.9%
3	防災対策(非常用物資の備蓄や公共施設の耐震構造強化など)	206	23.4%
4	防犯対策	325	36.9%
5	交通安全対策	119	13.5%
6	その他	4	0.5%
	無回答	11	1.2%
		881	100.0%



安心・安全なまちづくりのためには防犯対策を

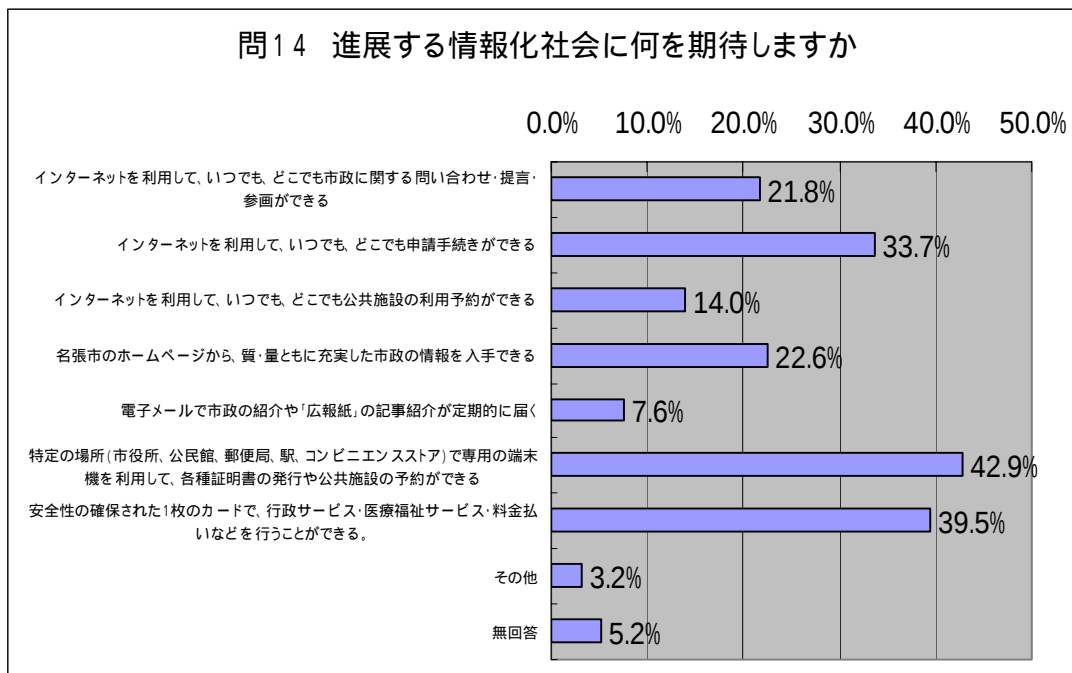
名張市が安心で安全なまちであるために行政に対して特に力を入れて取り組んでほしい分野については、「防犯対策」が 36.9%と最も多くほぼ 4 割を占めている。以下「防災対策(非常用物資の備蓄や公共施設の耐震構造強化など)」23.4%、「救急・救命活動」22.9%、「交通安全対策」13.5%「消防活動・防火対策」1.6%の順。いずれも安心・安全なまちづくりに欠かせない項目であるが、昨今の社会状況を反映して防犯面に不安を抱く人が多いことがうかがえる。

9. 情報化社会

問14 進展する情報化社会に期待すること

	問14 進展する情報化社会に何を期待しますか	回答数	割合
1	インターネットを利用して、いつでも、どこでも市政に関する問い合わせ・提言・参画ができる	192	21.8%
2	インターネットを利用して、いつでも、どこでも申請手続きができる	297	33.7%
3	インターネットを利用して、いつでも、どこでも公共施設の利用予約ができる	123	14.0%
4	名張市のホームページから、質・量ともに充実した市政の情報を入手できる	199	22.6%
5	電子メールで市政の紹介や「広報紙」の記事紹介が定期的に届く	67	7.6%
6	特定の場所（市役所、公民館、郵便局、駅、コンビニエンスストア）で専用の端末機を利用して、各種証明書の発行や公共施設の予約ができる	378	42.9%
7	安全性の確保された1枚のカードで、行政サービス・医療福祉サービス・料金払いなどを行うことができる。	348	39.5%
8	その他	28	3.2%
	無回答	46	5.2%

複数回答(2つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



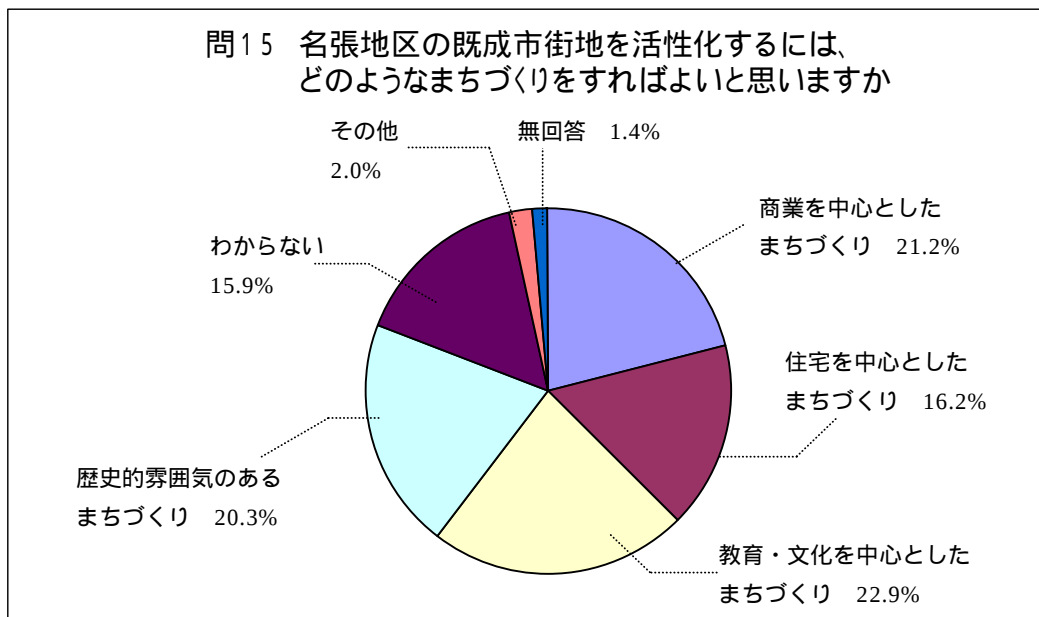
情報化社会に期待することは各種手続き、支払いなどの利便性

今後進展する情報化社会に期待することは、「特定の場所（市役所、公民館、郵便局、駅、コンビニエンスストア）で専用の端末機を利用して、各種証明書の発行や公共施設の予約ができる」42.9%、「安全性の確保された1枚のカードで、行政サービス・医療福祉サービス・料金払いなどを行うことができる」39.5%、「インターネットを利用して、いつでも、どこでも申請手続きができる」33.7%が上位を占め、各種の手続き、支払いなどの利便性を期待していることがうかがえる。

10. 既成市街地のまちづくり

問15 名張地区の既成市街地を活性化するためのまちづくり

	問15 名張地区の既成市街地を活性化するには、どのようなまちづくりをすればよいと思いますか	回答数	割合
1	商業を中心としたまちづくり	187	21.2%
2	住宅を中心としたまちづくり	143	16.2%
3	教育・文化を中心としたまちづくり	202	22.9%
4	歴史的雰囲気のあるまちづくり	179	20.3%
5	わからない	140	15.9%
6	その他	18	2.0%
	無回答	12	1.4%
		881	100.0%



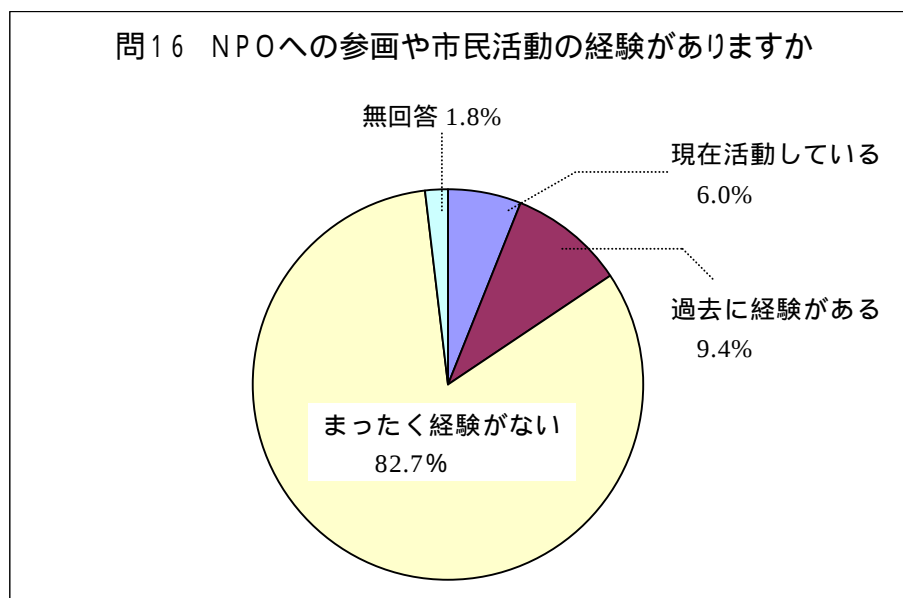
名張地区の既成市街地の活性化

名張地区の既成市街地の活性化のためにどのようなまちづくりをすればよいかという問いに対しては、「教育・文化を中心としたまちづくり」22.9%、「商業を中心としたまちづくり」21.2%、「歴史的雰囲気のあるまちづくり」20.3%、「住宅を中心としたまちづくり」16.2%の順となっていて、特に突出した項目はなかった。また、15.9%の人がわからないと回答している。

1 1. NPO・市民活動等

問16 NPOへの参画・市民活動の経験

	問16 NPOへの参画や市民活動の経験がありますか	回答数	割合
1	現在活動している	53	6.0%
2	過去に活動の経験がある	83	9.4%
3	まったく経験がない	729	82.7%
	無回答	16	1.8%
		881	100.0%

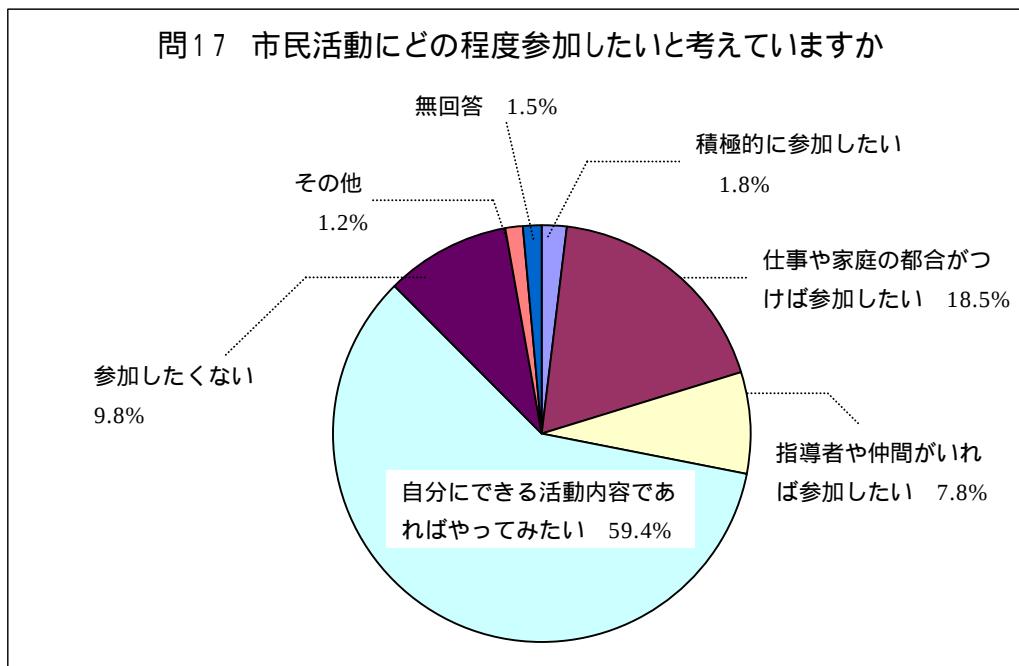


8割以上の人がまったく経験なし

NPO（民間非営利組織）への参画、市民活動の経験については、「現在活動している」6.0%、「過去に活動の経験がある」9.4%、「まったく経験がない」82.7%と、「まったく経験がない」人が8割以上を占めている。

問１７ 市民活動への参加意向

	問１７ 市民活動にどの程度参加したいと考えていますか	回答数	割合
1	積極的に参加したい	16	1.8%
2	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	163	18.5%
3	指導者や仲間がいれば参加したい	69	7.8%
4	自分にできる活動内容であれば参加したい	523	59.4%
5	参加したくない	86	9.8%
6	その他	11	1.2%
	無回答	13	1.5%
		881	100.0%



何らかのかたちで市民活動に参加したいとする人はほぼ９割

市民活動にどの程度参加したいかという問いに対しては、「自分にできる活動内容であれば参加したい」59.4%、「仕事や家庭の都合がつけば参加したい」18.5%、「指導者や仲間がいれば参加したい」7.8%に対し、「参加したくない」とした人は9.8%と１割にも満たなかった。

８割以上の人が市民活動への参加経験がないとする一方で、９割近くの人何らかのかたちで「参加したい」と答えており、市民活動への関心の高さがうかがえる。

また、条件や環境があれば参加したいとする人が多く、参加しやすい条件、環境を整備することによって、参加意欲が実際の行動に結びつけば、地域福祉やコミュニティ活動など、市民主体のまちづくりが大きく進展するものと考えられる。

<参考> 平成 10 年調査結果

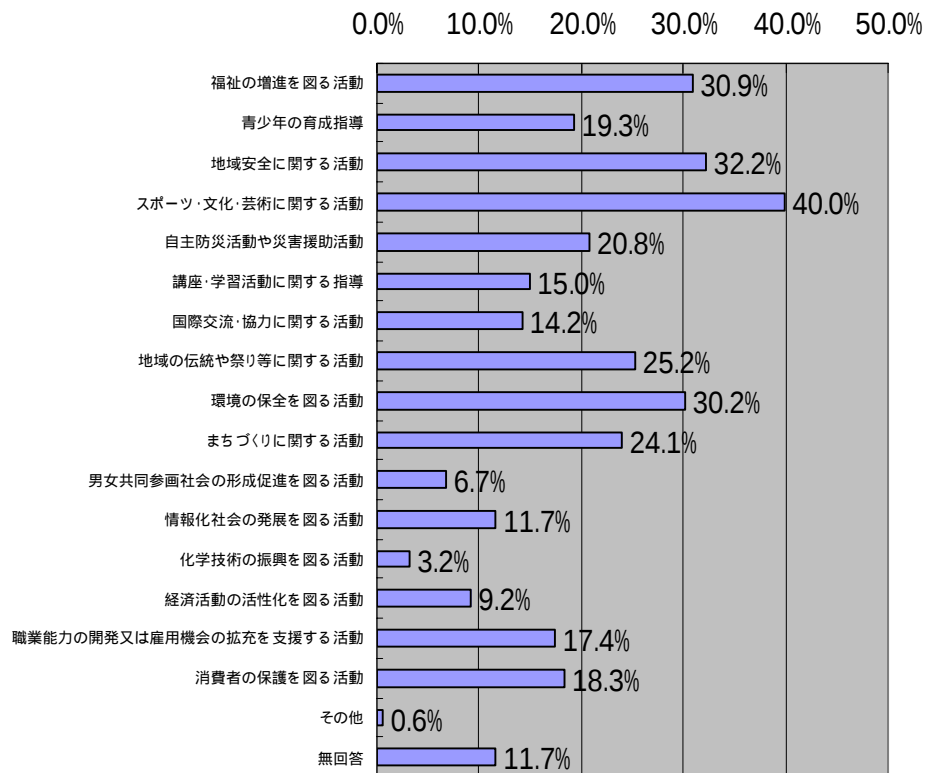
	問17 市民活動にどの程度参加したいと考えていますか	割合
1	積極的に参加したい	3.4%
2	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	22.5%
3	指導者や仲間がいれば参加したい	7.6%
4	自分にできる活動内容であれば参加したい	52.4%
5	参加したくない	9.5%
6	その他	1.1%
	無回答	3.5%
		100.0%

問18 今後行ってみたい市民活動

	問18 今後、どのような市民活動を行ってみたいと思いますか	回答数	割合
1	福祉の増進を図る活動	272	30.9%
2	青少年の育成指導	170	19.3%
3	地域安全に関する活動	284	32.2%
4	スポーツ・文化・芸術に関する活動	352	40.0%
5	自主防災活動や災害援助活動	183	20.8%
6	講座・学習活動に関する指導	132	15.0%
7	国際交流・協力に関する活動	125	14.2%
8	地域の伝統や祭り等に関する活動	222	25.2%
9	環境の保全を図る活動	266	30.2%
10	まちづくりに関する活動	212	24.1%
11	男女共同参画社会の形成促進を図る活動	59	6.7%
12	情報化社会の発展を図る活動	103	11.7%
13	化学技術の振興を図る活動	28	3.2%
14	経済活動の活性化を図る活動	81	9.2%
15	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	153	17.4%
16	消費者の保護を図る活動	161	18.3%
17	その他	5	0.6%
	無回答	103	11.7%

複数回答、回答者のうち各項目を選択した人の割合

問18 今後、どのような市民活動を行ってみたいと思いますか



「スポーツ・文化・芸術」、「福祉」、「環境保全」、「地域に関わる活動」

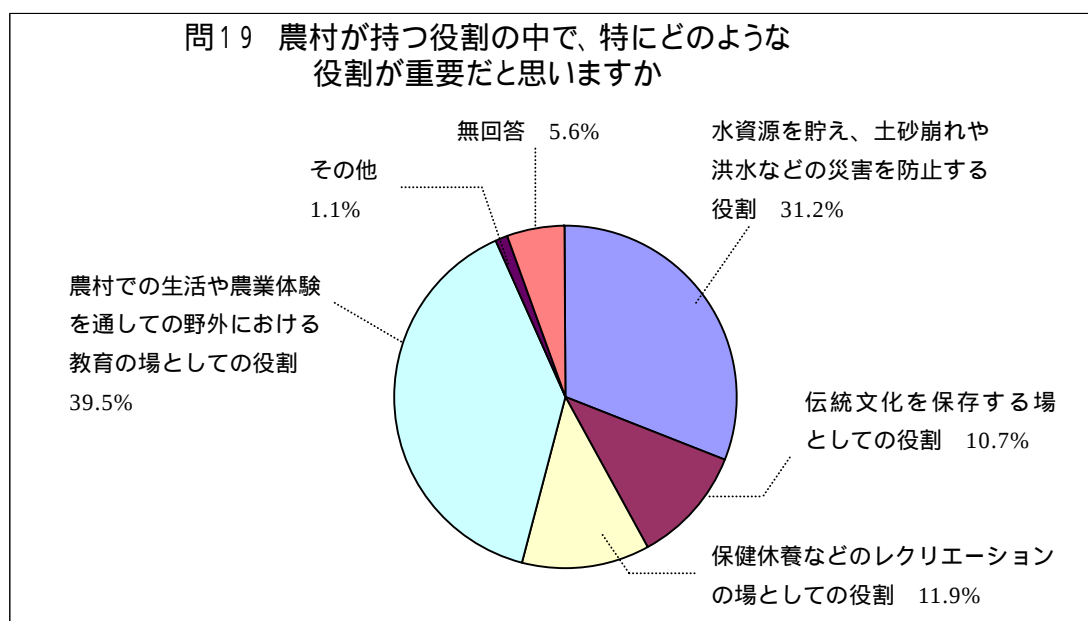
現在活動中のものも含め、今後行ってみたい市民活動として、4割（40.0%）の人が「スポーツ・文化・芸術に関する活動」をあげており、高齢期の過ごし方同様、スポーツ・文化活動への関心の高さがうかがえる。

これに続く活動として、「地域安全に関する活動」32.2%、「福祉の増進を図る活動」30.9%、「環境の保全を図る活動」30.2%、「地域の伝統や祭り等に関する活動」25.2%、「まちづくりに関する活動」24.1%、「自主防災活動や災害援助活動」20.8%などがあげられ、福祉、環境、地域に関わる活動が比較的多い。

12. 農村や農作物づくり

問19 農村の多面的な機能の中で特に重要と思う役割

	問19 農村が持つ役割の中で、特にどのような役割が重要だと思いますか	回答数	割合
1	水資源を貯え、土砂崩れや洪水などの災害を防止する役割	275	31.2%
2	伝統文化を保存する場としての役割	94	10.7%
3	保健休養などのレクリエーションの場としての役割	105	11.9%
4	農村での生活や農業体験を通しての野外における教育の場としての役割	348	39.5%
5	その他	10	1.1%
	無回答	49	5.6%
		881	100.0%

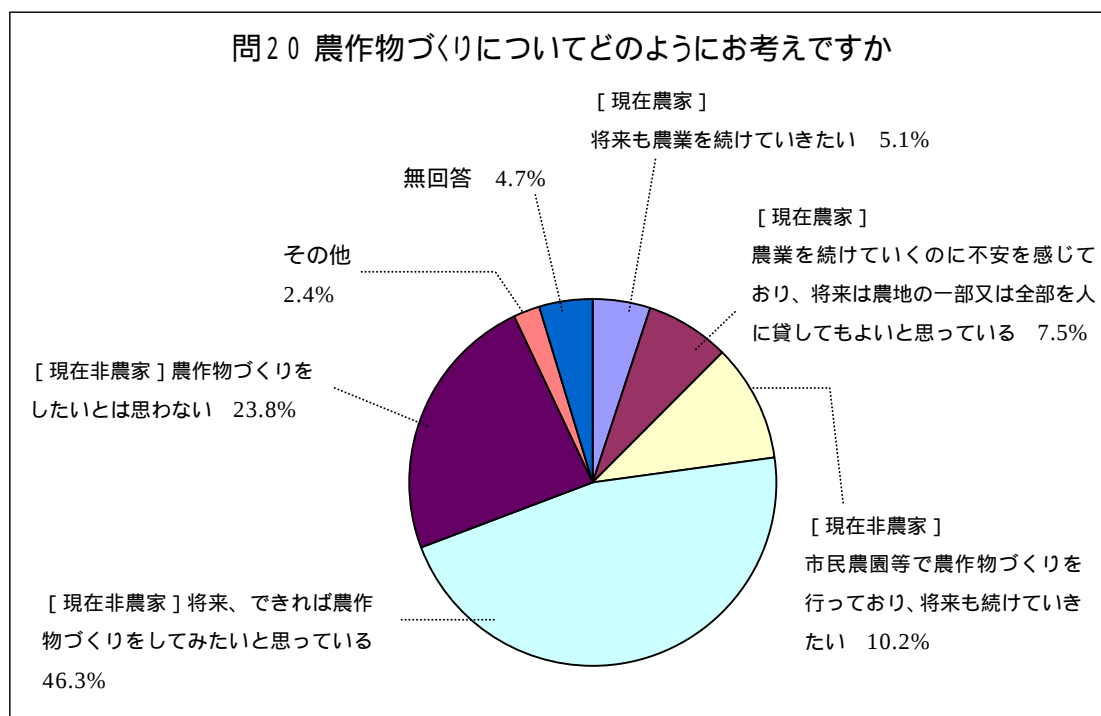


農村は野外における教育の場

農村が持つ多面的な機能、役割の中で特に重要なものとして、「農村での生活や農業体験を通しての野外における教育の場としての役割」をあげた人が39.5%と全体のほぼ4割を占め、次いで「水資源を貯え、土砂崩れや洪水などの災害を防止する役割」31.2%、「保健休養などのレクリエーションの場としての役割」11.9%、「伝統文化を保存する場としての役割」10.7%の順となっている。

問20 農村物づくりへの関心

	問20 農作物づくりについてどのようにお考えですか	回答数	割合
1	[現在農家] 将来も農業を続けていきたい	45	5.1%
2	[現在農家] 農業を続けていくのに不安を感じており、将来は農地の一部又は全部を人に貸してもよいと思っている	66	7.5%
3	[現在非農家] 市民農園等で農作物づくりを行っており、将来も続けていきたい	90	10.2%
4	[現在非農家] 将来、できれば農作物づくりをしてみたいと思っている	408	46.3%
5	[現在非農家] 農作物づくりをしたいとは思わない	210	23.8%
6	その他	21	2.4%
	無回答	41	4.7%
		881	100.0%

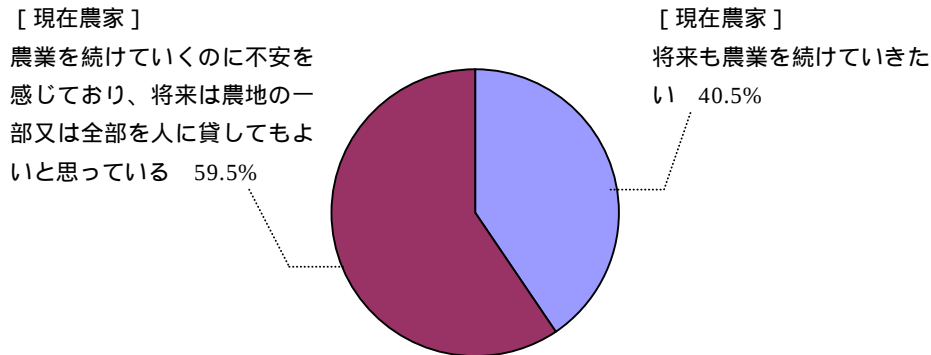


半数近くが将来農作物づくりをしてみたい

回答者のうち農家の人が12.6%、非農家の人が80.3%となっている。

非農家の人で、現在市民農園等で農作物づくりをしている人は10.2%、将来農作物づくりをしてみたいと考えている人は46.3%にのぼっており、農作物づくりに対する高い関心がうかがえる。

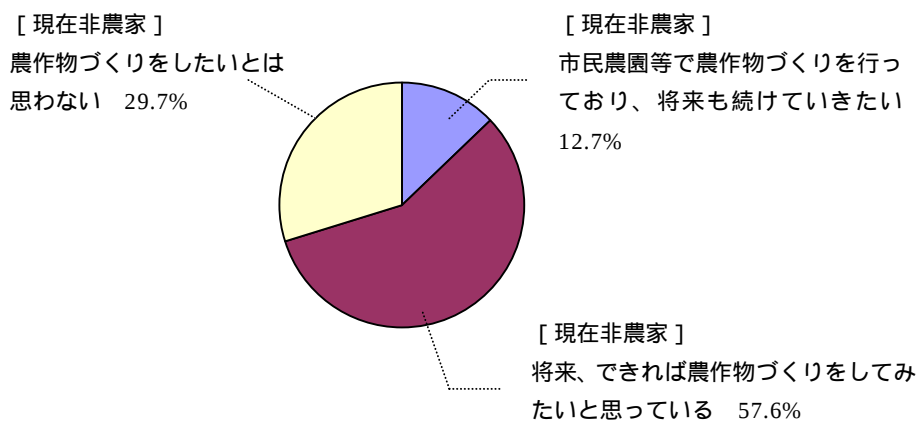
[現在農家の方] 将来も農業を続けていきたいですか



農家の6割の人が農業を続けていくのに不安

農家の人だけを抜き出すと「将来も農業を続けていきたい」が40.5%で、「農業を続けていくのに不安を感じており、将来は農地の一部又は全部を人に貸してもよいと思っている」が59.5%となっていて、農業を取り巻く環境の厳しさなどから、農業継続について不安が高いことがうかがえる。

[現在非農家の方] 農作物づくりをしたいと思いますか



非農家の7割が農作物づくりに関心がある

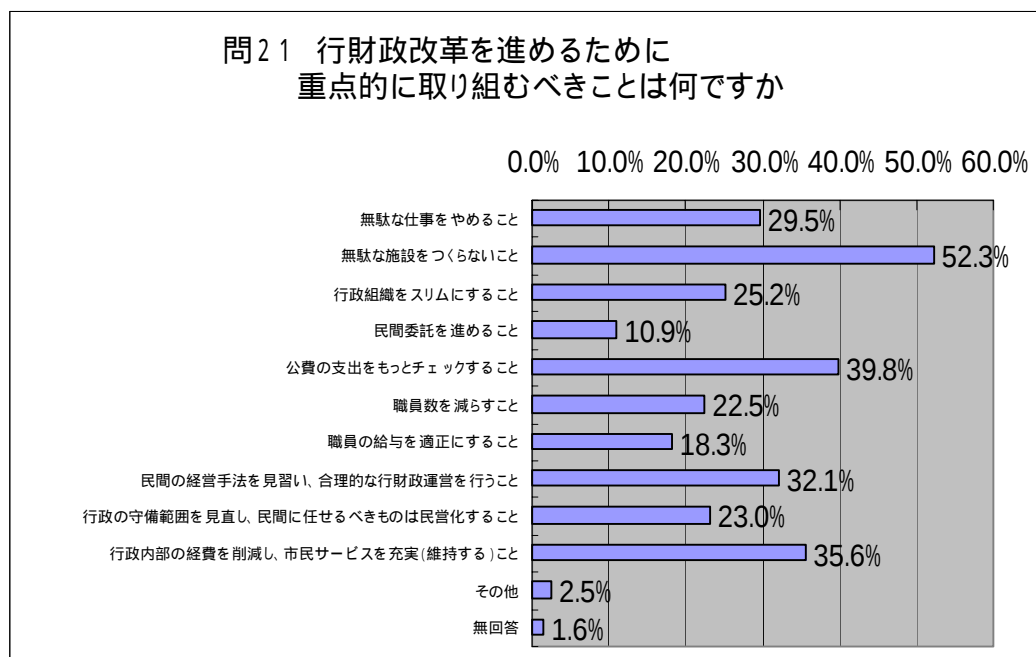
非農家の人だけを対象に回答を分析すると、「市民農園等で農作物づくりを行っており、将来も続けていきたい」12.7%、「将来できれば農作物づくりをしたいと思っている」が57.6%となっていて、合わせて7割の人が農作物づくりをしたいと回答していて、農作物づくりに対する高い関心がうかがえる。

13. 行財政改革の取り組み

問21 行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきこと

	問21 行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきことは何ですか	回答数	割合
1	無駄な仕事をやめること	260	29.5%
2	無駄な施設をつくらないこと	461	52.3%
3	行政組織をスリムにすること	222	25.2%
4	民間委託を進めること	96	10.9%
5	公費の支出をもっとチェックすること	351	39.8%
6	職員数を減らすこと	198	22.5%
7	職員の給与を適正にすること	161	18.3%
8	民間の経営手法を見習い、合理的な行財政運営を行うこと	283	32.1%
9	行政の守備範囲を見直し、民間に任せるべきものは民営化すること	203	23.0%
10	行政内部の経費を削減し、市民サービスを充実（維持する）こと	314	35.6%
11	その他	22	2.5%
	無回答	14	1.6%

複数回答(3 つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



重点的に取り組むべきことは、無駄な施設をつくらないこと

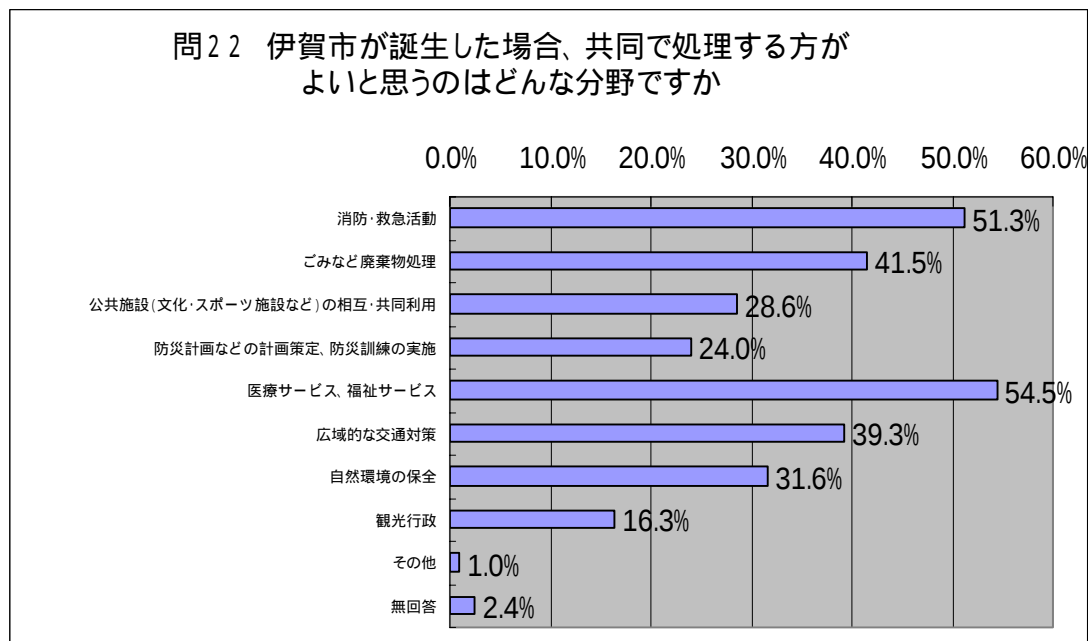
行財政改革を進めるため重点的に取り組むべきことは「無駄な施設をつくらないこと」52.3%が最も多く、半数以上の人が必要と考えている。続いて「公費の支出をもっとチェックすること」39.8%、「行政内部の経費を削減し、市民サービスを充実（維持する）こと」35.6%、「民間の経営手法を見習い、合理的な行財政運営を行うこと」32.1%、「無駄な仕事をやめること」29.5%などの項目があげられる。無駄を無くした合理的な行財政運営が重要と考えられている。

1 4. 広域行政

問2 2 広域で共同処理する方がよいと思う分野

	問2 2 伊賀市が誕生した場合、共同で処理するほうがよいと思うのはどんな分野ですか	回答数	割合
1	消防・救急活動	452	51.3%
2	ごみなど廃棄物処理	366	41.5%
3	公共施設（文化・スポーツ施設など）の相互・共同利用	252	28.6%
4	防災計画などの計画策定、防災訓練の実施	211	24.0%
5	医療サービス、福祉サービス	480	54.5%
6	広域的な交通対策	346	39.3%
7	自然環境の保全	278	31.6%
8	観光行政	144	16.3%
9	その他	9	1.0%
	無回答	21	2.4%

複数回答(3 つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



医療・福祉サービス、消防・救急活動は共同で広域的な処理を

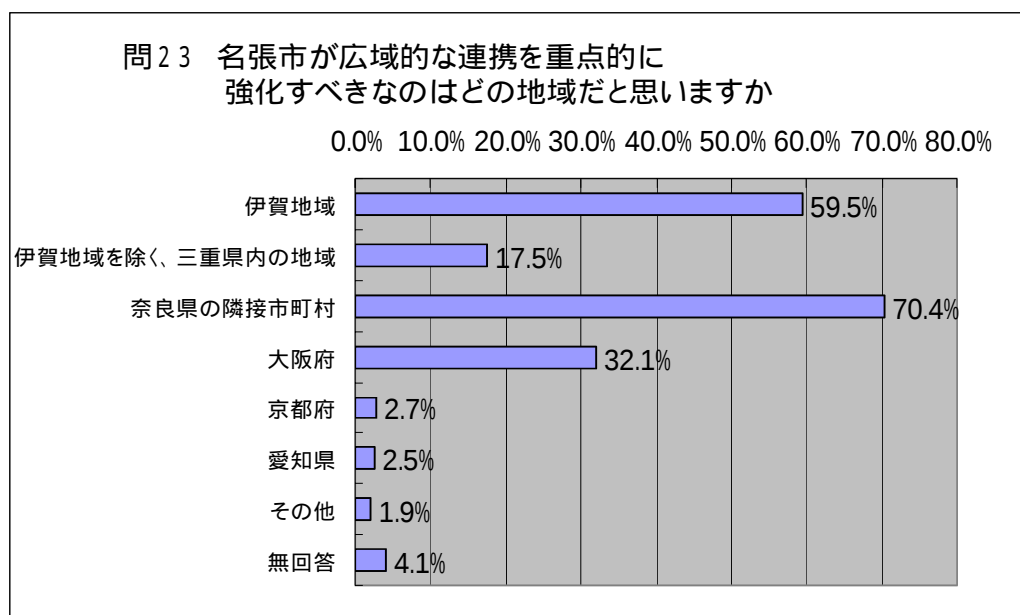
6市町村（上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町）が合併して誕生する予定の新しい市と共同で処理する方がよいと思う分野について質問したところ、「医療サービス、福祉サービス」54.5%、「消防・救急活動」51.3%の2項目について、半数以上の人々が共同で処理したほうがよいと考えている。また、「ごみなど廃棄物処理」41.5%、「広域的な交通対策」39.3%を約4割の人があげている。

消防、ごみ処理など、現在、青山町と共同で処理をしている分野については、今後も共同で広域処理する方がよいと考える人が多いようである。

問２３ 広域的な連携を強化すべき地域

	問２３ 名張が広域的な連携を重点的に強化すべきなのはどの地域だと思いますか	回答数	割合
1	伊賀地域	524	59.5%
2	伊賀地域を除く、三重県内の地域	154	17.5%
3	奈良県の隣接市町村	620	70.4%
4	大阪府	283	32.1%
5	京都府	24	2.7%
6	愛知県	22	2.5%
7	その他	17	1.9%
	無回答	36	4.1%

複数回答(２つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



奈良県の隣接市町村、伊賀地域、大阪府との連携を重点的に

広域的な連携を重点的に強化すべきと思われる地域については、「奈良県の隣接市町村」70.4%、「伊賀地域」59.5%と回答した人が圧倒的に多く、次いで「大阪府」32.1%となった。

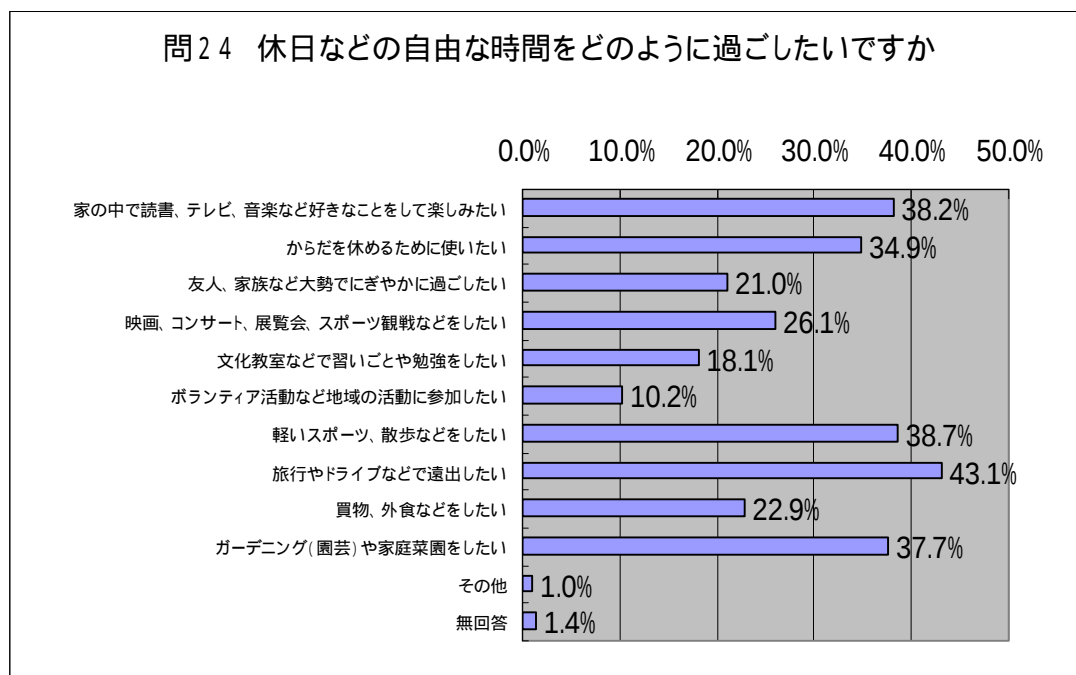
伊賀地域を除く三重県内の地域と回答した人は17.5%に留まり、県の枠組みを越え、日常生活で関係の深い隣接する地域、大阪府との連携を重視する声が多いようである。

15. その他

問24 休日の過ごし方

	問24 休日などの自由な時間をどのように過ごしたいですか	回答数	割合
1	家の中で読書、テレビ、音楽など好きなことをして楽しみたい	336	38.2%
2	からだを休めるために使いたい	307	34.9%
3	友人、家族など大勢でにぎやかに過ごしたい	185	21.0%
4	映画、コンサート、展覧会、スポーツ観戦などをしたい	229	26.1%
5	文化教室などで習いごとや勉強をしたい	159	18.1%
6	ボランティア活動など地域の活動に参加したい	90	10.2%
7	軽いスポーツ、散歩などをしたい	340	38.7%
8	旅行やドライブなどで遠出したい	379	43.1%
9	買物、外食などをしたい	201	22.9%
10	ガーデニング（園芸）や家庭菜園をしたい	331	37.7%
11	その他	9	1.0%
	無回答	12	1.4%

複数回答(3 つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



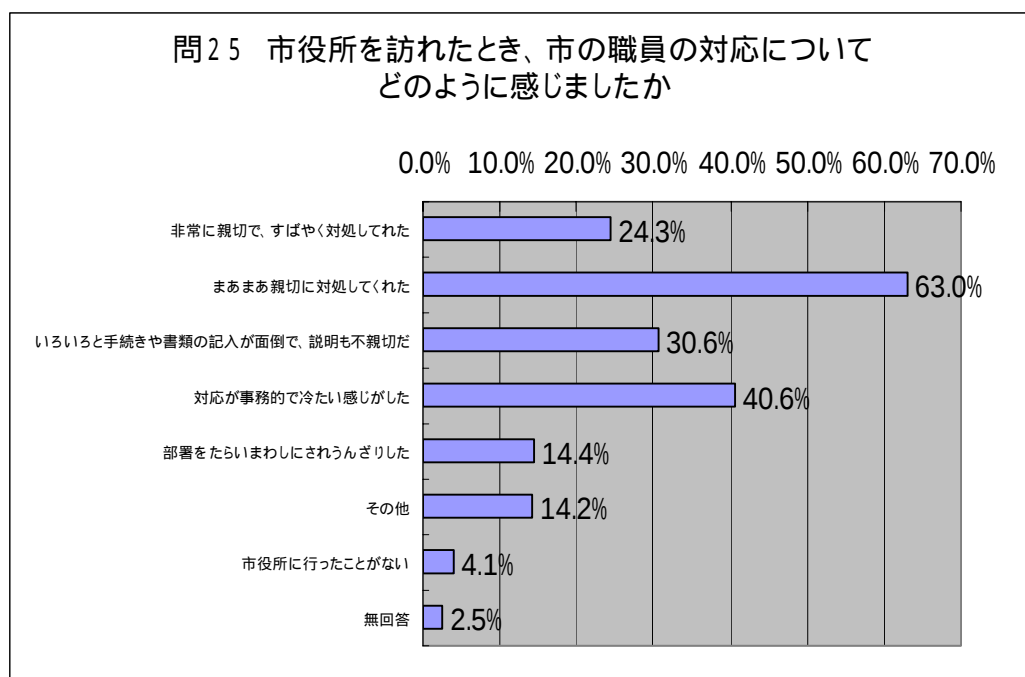
休日の過ごし方は多種多様

休日など自由な時間をどのように過ごしたいかについては、「旅行やドライブなどで遠出したい」43.1%、「軽いスポーツ、散歩などをしたい」38.7%、「家の中で読書、テレビ、音楽など好きなことをして楽しみたい」38.2%、「ガーデニング（園芸）や家庭菜園をしたい」37.7%、「からだを休めるために使いたい」34.9%などが上位となった。

問25 市職員の対応評価

	問25 市役所を訪れたとき、市の職員の対応についてどのように感じましたか	回答数	割合
1	非常に親切で、すばやく対処してくれた	214	24.3%
2	まあまあ親切に対処してくれた	554	63.0%
3	いろいろと手続きや書類の記入が面倒で、説明も不親切だ	269	30.6%
4	対応が事務的で冷たい感じがした	357	40.6%
5	部署をたらいまわしにされうんざりした	127	14.4%
6	その他	125	14.2%
7	市役所に行ったことがない	36	4.1%
	無回答	22	2.5%

複数回答(3 つまで)、回答者のうち各項目を選択した人の割合



6割の人が「まあまあ親切」と回答

市役所を訪れたときの職員の対応について、「まあまあ親切に対処してくれた」と回答した人が63.0%と、回答者の6割を占め、「非常に親切で、すばやく対処してくれた」と評価する人は24.3%であった。

一方で「対応が事務的で冷たい感じがした」と回答した人が40.6%、「いろいろと手続きや書類の記入が面倒で、説明も不親切だ」30.6%、「部署をたらいまわしにされうんざりした」14.4%となっており、市民の立場に立った、親切でわかりやすい説明・案内が求められている。